



創立 50 周年



山王小だより

男子 211 名 女子 203 名 計 414 名

令和 7 年 6 月 14 日
狭山市立山王小学校
学校だより No. 11

↑ 学校に咲いている紫陽花

校長 市川 博康

1 6 年生ミニバス大会【6/6（金）VS御狩場小学校】



試合前のファイトコールで士気を
上げました。



山王小の下級生がたくさん応援してくれました。



★6 年生のミニバス大会を終えての感想★

- みんなで声をかけ合ったり、失敗しても励まし合ったりすることがとても大切だと感じた。作戦など、事前に計画を立てて準備することの大切さを学んだ。
- 負けてしまったからこそ、悔しいと感じ、次に生かそうと考えることができた。そして何よりもチームが一丸となってプレーできたことが嬉しかったし、みんなの温かい応援があることで自信もってプレーすることができた。
- 諦めずに頑張れば、それなりのよい結果になり、「諦めたら負ける」ということを実感しました。
- 「ナイスシュート」などの声かけをすることで、みんなが団結や協力することができ、団結や協力するとみんなが楽しめたり、全力で取り組むことができる良さについて学ぶことができた。
- チームやみんなとの協力、団結力を学んだ。試合は、「楽しんだもん勝ち！」ということを感じました。
- チームで活動することで、一緒に喜び合えたことが良かった。今後、困った人がいたら、みんなで協力して解決しようと思った。



子供たちの感想を読むと、「勝敗」よりも、「みんなで1つの目標に向かって取り組むことの楽しさ」を学んだことが分かります。スポーツなので勝敗は大切です。しかし、得意な人も苦手な人もいる中で、勝ち負けにこだわり過ぎると、相手を罵倒したり、悪い態度に出たりしてしまいます。6年生担任を中心に、「どうしたらみんなで協力して、楽しむことができるのか」を考え、練習から大会当日まで活動することができたミニバス大会でした。

2 講話集会【6/10（火）：13:05～13:20 体育館】

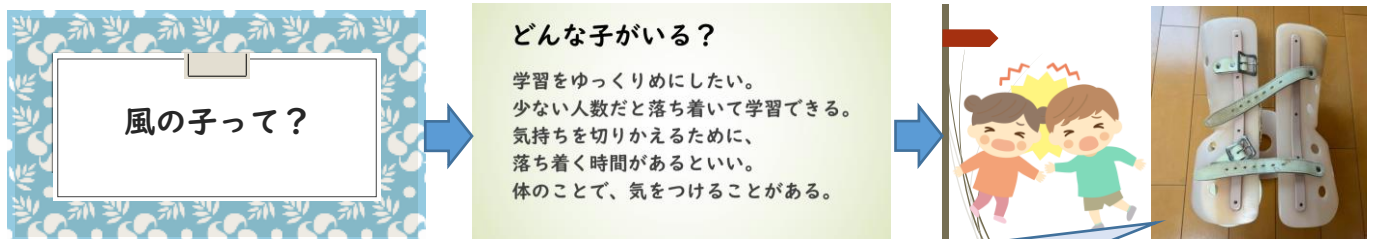
風の子学級について

4月に全学年の学年集会において、風の子学級の各担任が支援学級の啓発授業を行い、すべての子供たちにとって貴重な学びの場となりました。そして、先日（6/10）風の子学級主任の岸教諭から、全校の子供たちへ「特別支援学級の理解」について、再び話をしました。

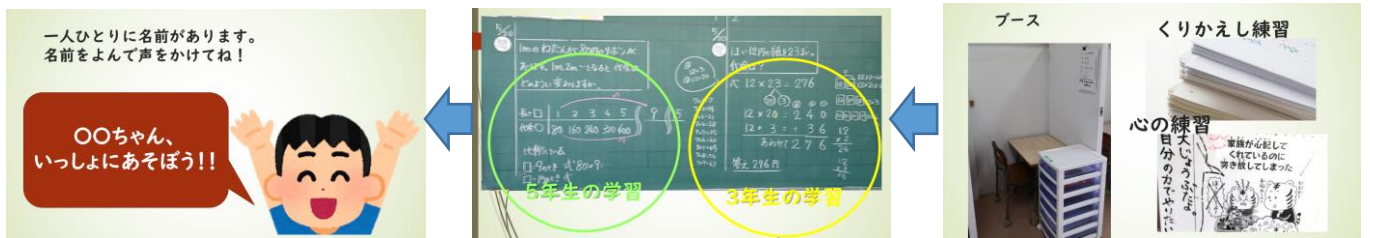


「支援学級は、少人数で学習や生活等を学ぶ場所であり、自分に合った学び方を見つけるところです。」本校では、特別支援学級と通常学級との交流学习を実施しています。この交流学习を通して、相互の理解を深め、偏見や差別をなくすために全校の子供たちへ改めて伝えました。また、LGBTQや学習障害等で「人との違い」に悩んだり苦しんだりしている子供たちに対してメッセージを伝え、子供たちにとって貴重な時間となりました。

【講話集会で使用した資料】



体に器具を装着しているなど、体のことで気をつける子がいるので、廊下を走らないでね。



自分に合ったペースで、学んでいる子もいれば、通常学級と同じ進度で学習に取り組んでいる子もいます。

3 山王小学校 基本ガイド

創立50周年を記念して、「山王小学校 基本ガイド」を作成しました。この基本ガイドは、山王小の教職員の分掌（学校運営のために教職員が分担して行う教科、担任以外の仕事）をまとめたものです。カラー版は、スクリーンで配信し、紙（白黒）を今週、家庭数で配布いたしました。

今後、多少変更する場合もございますが、山王小の基本的なことが記載されていますので、ご活用ください。



4 50周年記念事業バルーンリリースボランティアへの申し込みありがとうございました。

この度は、6月19日（木）に開催されるバルーンリリースへのご応募、誠にありがとうございました。30名の保護者の方の参加がありました。当日、よろしくお願い申し上げます。